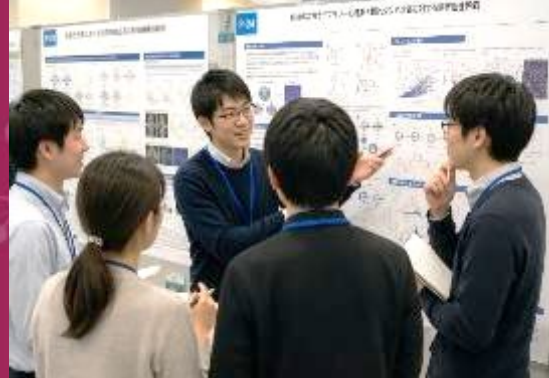




# ～出会う、話せる、創薬の芽～

研究者同士の直接対話の場

Pharma Academia Connect in TSUKUBA

2026年 10月27日(火)開催

アステラス製薬株式会社 つくば研究センター／SakuLab

## ここで出会う研究が、次の創薬のきっかけになる

DIA、medU-net、アステラス製薬、エーザイ、小野薬品工業、大鵬薬品工業、日本新薬の共催により、10月27日にアステラス製薬つくば研究センターにてPAC TSUKUBA 2026を開催いたします。

PAC TSUKUBA 2026は、昨年6月に大好評を頂いたDIA-MARC-SakuLab共催シンポジウムに続く第二弾として開催する、アカデミアと製薬企業の研究者が直接語り合う交流イベントです。

研究を「評価する」だけではなく、「一緒に育てられる可能性」を研究者同士で見つけることを大切にしています。製薬5社が、今まさに研究者と議論したい疾患・創薬技術をWishlistとして事前に公開。そのWishlistを対話の糸口として、全国約20の大学・研究機関等から、多彩な創薬研究が集結しました。

| Time        | プログラム                                                                                                                   |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:30-13:50 | Opening remarks: DIA/medU-net/Astellas<br>第一部                                                                           |
| 13:50-14:10 | 講演Ⅰ<br>AMEDが考えるアカデミアと製薬企業の共創モデル<br>AMED 推進役 浅野 武夫                                                                       |
| 14:20-14:50 | Research SparksⅠ ～研究者によるショートプレゼン～                                                                                       |
| 15:00-15:20 | 講演Ⅱ<br>アカデミア発創薬を社会実装するために<br>ーiPS細胞研究が拓く共創の未来ー(仮)<br>京都大学 iPS細胞研究所 教授 井上治久                                              |
| 15:30-16:00 | Research SparksⅡ ～研究者によるショートプレゼン～                                                                                       |
| 16:00-16:15 | Break(ポスター発表会場へ移動、ポスター貼付)<br>第二部                                                                                        |
| 16:15-18:30 | Innovation Poster Session<br>・コアタイムを設けた学会式ポスター発表<br>・Q&Aによる研究者間の意見交換<br>・一緒に育てる可能性について研究者間で対話<br>・会話の弾む御食事(含 つくば地ビール 等) |
| 18:30-18:35 | Closing                                                                                                                 |

### 【開催日】

‘26年10月27日(火)13:30-18:35  
(13:00受付開始)

### 【会 場】

アステラス製薬 つくば研究センター  
茨城県つくば市御幸が丘21  
最寄駅  
つくばエクスプレス「研究学園」駅  
TX研究学園駅から会場まで送迎バスをご用意します。

### 【参加費】 無料(事前登録制)

### 【定 員】 先着200名

※定員に達した場合は、申込期間内であっても受付を終了する場合があります。

### 【申込み】

〆切: 10月20日(火) 17:00

エントリーする



<https://forms.cloud.microsoft/r/2wqEVw4ATi>

がん、神経疾患、免疫、希少疾患、腎疾患をはじめ、遺伝子治療、核酸・ペプチド創薬、DDS、抗体、疾患モデル、AI創薬など、製薬企業のWishlistにアラインした幅広い研究が集まっています。

アルツハイマー病の神経回路再構築、塩基編集による遺伝性疾患治療、脳DDS、細胞サブセット標的化、多発性嚢胞腎の新規治療、天然ヒト抗体データを活用したAI創薬など、これからの創薬につながる研究と研究者に直接出会うことができます。

ポスターの前で研究者と話す。そこから、思いがけない研究の展開が始まるかもしれません。  
10月27日、つくばで。

新しい創薬の「エピソードZERO」に出会ってください。



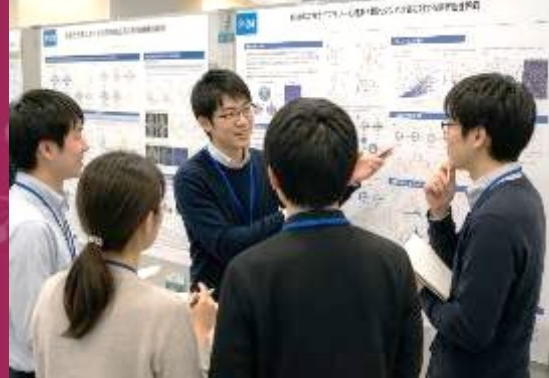
DIA Japan

Nihonbashi Life Science Building 6F,  
2-3-11 Nihonbashi-honcho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023 Japan Tel:  
+81.3.6214.0574 Email: JapanAnnual@DIAglobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan | India

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world. **DIAglobal.org**



## ～出会う、話せる、創薬の芽～

研究者同士の直接対話の場

Pharma Academia Connect in TSUKUBA

2026年 10月27日(火)開催

アステラス製薬株式会社 つくば研究センター／SakuLab

## ポスター発表登録演題一覧（'26/10/1）

| 所属機関                     | 所属部署                           | 氏名           | ポスター演題                                                                          |
|--------------------------|--------------------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 愛媛大学                     | 医学部泌尿器科                        | 渡辺隆太         | がん種横断的PSMA陽性腫瘍血管を標的とした新規治療薬の開発                                                  |
| 東京大学                     | 農学部                            | 田中祐希         | 極低出生体重児向けヒト乳タンパク質製剤の創製                                                          |
| 東京都医学総合研究所               | 免疫医薬グループ                       | 鈴木輝彦         | MHC遺伝子群完全ヒト化マウスがもたらす免疫医薬開発の加速                                                   |
| 横浜市立大学                   | 医学部 神経内科学・脳卒中医学教室              | 竹居光太郎        | アルツハイマー病に対する神経再生促進因子LOTUSによる神経回路再構築型治療法の実用化開発                                   |
| 横浜市立大学附属病院               | 脳神経内科・脳卒中科                     | 高橋慶太         | 神経機能分子LOTUSを標的とした神経難病の新規バイオマーカー/治療法の統合的開発                                       |
| 金沢大学                     | 医薬保健研究域薬学系                     | 中村 孝司        | 細胞をサブセットレベルで識別する標的化技術                                                           |
| 東京科学大学                   | 国際医工共創研究院<br>核酸・ペプチド創薬治療研究センター | 原 倫太郎        | glymphatic system制御による中分子医薬の脳移行促進技術                                             |
| 札幌医科大学                   | 内科学講座脳神経内科学分野                  | 岩原 直敏        | 多発性硬化症における髄液細胞外小胞プロテオーム解析による病態・進行バイオマーカー探索                                      |
| 東京理科大学                   | 教養教育研究院葛飾キャンパス<br>教養部          | 秋山好嗣         | 核酸ブラシ構造を用いたキャリアフリーナノ医薬と目視薬物探索                                                   |
| 藤田医科大学                   | 医科学研究センター                      | 常陸圭介<br>土田邦博 | 連筋型ミオシン欠損モデルマウスを用いた筋萎縮・筋組織環境変化の解析—創薬標的探索に向けて                                    |
| 藤田医科大学                   | 医科学研究センター・難病治療学<br>研究部門        | 上田洋司         | PD-L1含有細胞外小胞を介したがん免疫抑制とスタチンによる制御                                                |
| 国立大学法人新潟大学               | 経営戦略本部UA室                      | 升村 誠         | 新潟大学脳研究所・ChBRI(シブリ)が拓くヒト脳疾患研究                                                   |
| 京都大学                     | iPS細胞研究所                       | 井上治久         | 塩基編集による遺伝性運動ニューロン疾患の治療開発                                                        |
| 金沢大学                     | 理工研究域 生命理工学系                   | 黒田浩介         | 難溶性薬剤のための新規溶媒：双性イオン液体                                                           |
| 金沢大学                     | がん進展制御研究所                      | 後藤典子         | 治療抵抗性乳がん幹細胞を標的とした根治療法の開発                                                        |
| 自治医科大学                   | 医学部 感染・免疫学講座<br>細菌学部門          | 崔龍洙          | A Modular Phage Capsid DDS Platform for Targeted Drug and Nucleic Acid Delivery |
| 東京科学大学                   | 集中治療部                          | 大澤 一郎        | キメラ動物を用いた動物モデルの作製方法及び薬剤評価方法                                                     |
| 山口大学                     | 大学院医学系研究科                      | 森田知佳         | 新規纖毛膜操作技術による多発性嚢胞腎の克服                                                           |
| 国立精神・神経医療<br>研究センター      | 神経研究所遺伝子疾患治療<br>研究部            | 白柿早暉<br>青木吉嗣 | キサンチン酸化還元酵素の阻害はプリン代謝を変化させ、骨格筋のエネルギー代謝と疲労抵抗性を高める                                 |
| 東京理科大学                   | 生命医科学研究所                       | 寺島裕也         | マクロファージ制御タンパクFROUTに着目した免疫正常化研究                                                  |
| 京都大学                     | 成長戦略本部                         | 鈴木 忍         | 京都大学における産学連携の取り組みについてのご紹介                                                       |
| 横浜市立大学                   | 医学部分子生物学教室                     | 秋山智彦         | 転写因子ドメインの迅速スクリーニングによる神経・グリア細胞作製の効率化                                             |
| 神戸大学                     | 大学院工学研究科応用化学専攻                 | 丸山達生         | ペプチドの自己組織性デザインによるがん・感染症への新規アプローチ                                                |
| 福島医大トランスレーショナル<br>リサーチ機構 | 技術移転部                          | 今井順一         | F-PDO/F-PDXを免疫することにより取得したがん組織を強く認識する抗体群                                         |
| 福島医大トランスレーショナル<br>リサーチ機構 | 研究開発第一部                        | 河村義史         | 天然ヒト抗体の配列と実測抗原反応性を統合した大規模データセットの構築とAI創薬への応用                                     |
| 自治医科大学/<br>ジエントライ株式会社    | 分子病態治療研究センター                   | 菊池次郎         | 難治性多発性骨髄腫の髄外病変を克服するCD38標的ペプチド薬物複合体の開発                                           |
| 筑波大学                     | 医学医療系                          | 渋谷和子         | 可溶性CD155を標的とした新しい免疫チェックポイント阻害剤の開発                                               |
| 東京理科大学                   | 理学部第一部化学科                      | 塚越かおり        | タンパク質-タンパク質間相互作用を促進する二重特異性アプタマーの開発                                              |
| 順天堂大学                    | 精神医学講座                         | 窪田-<br>坂下美恵  | 双極症の抑うつエピソード再発予防を目指した新規気分安定薬(mPTP阻害剤)の開発                                        |
| 順天堂大学                    | 大学院医学研究科 生化学・生体システム医科学         | 森永 礼         | 3Dデジタル病理プラットフォームによる世界標準の創薬・病理研究エコシステムの構築                                        |
| 国立研究開発法人<br>国立がん研究センター   | 先端バイオイメージング研究分野                | 吉澤 亮         | BRAF阻害剤によるKSRI1足場ナノクラスターの安定化はRAS/MAPK経路の再活性化を促進する                               |
| 公益財団法人東京都<br>医学総合研究所     | 視覚病態プロジェクト                     | 行方和彦         | リガンド非依存型TrkB活性化による視神経再生遺伝子治療の開発                                                 |
| 神戸大学医学部附属病院              | 放射線腫瘍科                         | 佐々木良平        | 過酸化チタンナノ粒子を基盤とする放射線がんワクチン療法(Burst Therapy)の新規開発                                 |
| Millde株式会社               | 研究開発本部                         | 畔堂一樹         | ラマンイメージングによる細胞・組織の分子分布可視化と創薬研究への応用                                              |
| 自治医科大学                   | 循環器内科                          | 甲谷友幸         | CLIDASが支える創薬・医療機器開発の新たなエコシステム                                                   |
| 川崎医科大学                   | 解剖学                            | 横西哲広         | 尿路上皮除去・再生を基盤とした非筋層浸潤性膀胱癌の新規膀胱内治療法の開発                                            |
| 国立精神・神経医療<br>研究センター      | 精神保健研究所 行動医学研究部                | 小川真太郎        | 「エタノールアミン」が示すうつ病のメカニズムと診断・治療の可能性—新規バイオマーカーや新しい治療法開発への道—                         |
| 東京科学大学                   | 核酸・ペプチド創薬治療研究センター              | 吉岡耕太郎        | アクティブターゲティング型ヘテロ2本鎖核酸による細胞選択的核酸医薬の開発                                            |
| 関西医科大学                   | 医化学講座                          | 寿野 良二        | GPCRの構造状態を起点とした創薬：構造解析から機能制御分子の創出へ                                              |
| 長崎大学                     | 医歯薬学総合研究科                      | 水田 賢志        | 難治性マイコバクテリア感染症に対する抗菌剤非依存的治療薬の開発                                                 |
| 東京都医学総合研究所               | 先端基礎医学研究分野                     | 平林哲也         | アストロサイトの異常活性化を特徴とする、新規ALS・運動ニューロン変性疾患モデルマウス                                     |
| 東京科学大学                   | 病態代謝解析学分野                      | 岩崎広高         | 連続血糖測定データの時間構造解析による代謝応答指標の開発と創薬研究への応用：GG-Health                                 |
| 東京大学                     | 医科学研究所泌尿器科                     | 高田伊知郎        | 新規CAR-T/NK治療技術を用いた前立腺癌免疫療法の確立                                                   |
| 東京大学大学院                  | 農学生命科学研究科獣衛生学教室                | 関野祐子         | シナプス可塑性を守る：ドレプリンA分解を選択的に阻害するペプチドを起点とした低分子創薬                                     |
| 横浜市立大学                   | 研究・産学連携推進センター                  | 坂本信二         | ADPKDの嚢胞形成抑制を実現する創薬                                                             |
| 横浜市立大学                   | 研究・産学連携推進センター                  | 坂本信二         | リハビリ効果促進を期待できる創薬(慢性期麻痺も視野)                                                      |
| 横浜市立大学                   | 研究・産学連携推進センター                  | 坂本信二         | SLEの寛解維持を実現する創薬                                                                 |
| 横浜市立大学                   | 研究・産学連携推進センター                  | 坂本信二         | 新しい免疫抑制機構に基づく辟癌治療創薬                                                             |
| 京都大学                     | 成長戦略本部                         | 小池 延幸        | アカデミア創薬のありたい姿                                                                   |
| 国立精神・神経医療<br>研究センター      | 神経研究所 神経薬理研究部                  | 村松里衣子        | ALSにおけるマクロファージ由来新規創薬標的の同定とsiRNAによる治療介入                                          |



DIA Japan

Nihonbashi Life Science Building 6F,  
2-3-11 Nihonbashi-honcho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023 Japan Tel:  
+81.3.6214.0574 Email: JapanAnnual@DIAglobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East &amp; Africa | China | Japan | India

DIA volunteers, members, and staff provide a  
comprehensive catalogue of conferences,  
workshops, training courses, scientific publications,  
and educational materials, throughout the year, all  
around the world. **DIAglobal.org**

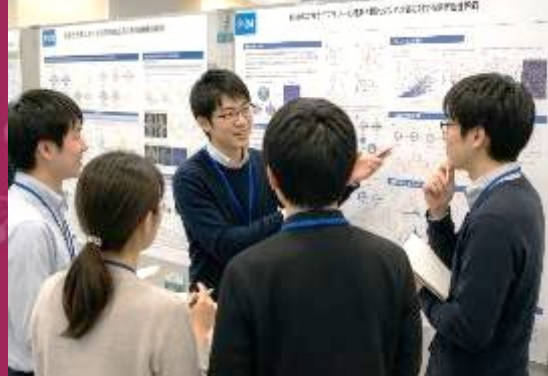
## ～出会う、話せる、創薬の芽～

研究者同士の直接対話の場

Pharma Academia Connect in TSUKUBA

2026年 10月27日(火)開催

アステラス製薬株式会社 つくば研究センター／SakuLab



- ・当日のネームホルダーにお名刺を使用しますので、お名刺を1枚ご持参下さい。
- ・受付にて出席証明書を発行致しますので、到着後は受付へお立ち寄りください。

## ポスター発表登録をされた方へ

- ・ポスター発表登録頂いた方も、参加登録は別途必要となります。
- ・ポスターNo.、ショートプレゼンのテンプレート等の詳細は後日ご案内致します。

## 参加者送迎バス時刻表

往路

| バス   | 研究学園駅⇒会場      | 備考                    |
|------|---------------|-----------------------|
| 1 台目 | 12:40 ⇒ 12:55 | TX到着 下り12:34, 上り12:36 |
| 2 台目 | 13:00 ⇒ 13:15 | TX到着 下り12:50, 上り12:53 |
| 3 台目 | 13:10 ⇒ 13:25 | TX到着 下り13:04, 上り13:06 |
| 4 台目 | 13:30 ⇒ 13:45 | 遅参者用                  |

復路

| バス   | 会場⇒研究学園駅      | 備考                    |
|------|---------------|-----------------------|
| 1 台目 | 18:40 ⇒ 18:55 | TX出発 上り19:05, 下り19:03 |
| 2 台目 | 18:55 ⇒ 19:10 | TX出発 上り19:14, 下り19:15 |
| 3 台目 | 19:10 ⇒ 19:25 | TX出発 上り19:35, 下り19:32 |

- ・当日の交通状況はご自身でご確認下さい。
- ・送迎バスにご乗車できない場合は、恐れ入りますが、TAXI等でご来場頂ければ幸いです。
- ・送迎バス以外のご来場方法を含む当日のご案内につきましては、イベント開催日が近づきましたら改めてご連絡いたします。
- ・研究学園駅周辺には大型コインロッカーがございませんが、お荷物につきましては会場内でクロークをご利用頂けますので、どうぞそのままお持ちください。

お問合せ

アステラス製薬株式会社

オープンイノベーションマネジメント部 田口 一実

E-mail : kazumi.taguchi@astellas.com

TEL : 080-9286-1060